当院の院内感染対策について

1.院内感染対策に係る基本的な考え方

当院の院内感染対策は、院内感染の防止に努め、患者様をはじめ職員他、院内に関わるすべての方を守るために『標準予防策（スタンダードプリコーション）』の観点に基づいた適正かつ、安全で良質の医療提供に資することを基本的な考えとしております。

そのため病院内外の感染症情報を幅広く共有し、指針・ガイドラインマニュアルを作成し、院内感染の危険及び発生に対して迅速に対応する活動体制をとっております。

2.院内感染対策に係る組織体制と取組内容

病院長、感染知識を有する医師、薬局、検査、看護、事務の各部門の責任者を含めた委員会を設置し、月１回開催、必要時は随時開催しております。

感染対策委員会の取組内容

① 院内感染防止対策の検討推進

② 院内感染防止の対応、原因究明・分析と職員への周知

③ 院内感染発生時における緊急対策に関すること

また、感染制御チーム（Infection Control Team）を設置し、以下任務・活動等が円滑かつ確実に遂行されるよう管理するため、院内感染管理者を選任しております。

感染制御チームの取組内容

① 種々の感染症、アウトブレイクに対し速やかな対応と助言

② ＪＡＮＩＳ（厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業）に参加し、その情報を収集分析し現場へフィードバックすることにより感染率の低下を図ること

③ 院内ラウンド実施による感染対策の浸透と改善

④ 感染対策ガイドライン、マニュアルの作成・見直し

⑤ 院内外活動（地域医療機関とのカンファレンス参加、研修会参加）

⑥ 感染防止に対する職員への教育研修の立案・主催

3.抗菌薬適正使用のための方策

院内感染管理者への届出許可や適正使用マニュアルによる適正使用の意識向上をはかっております。

4.他医療機関等との連携体制

川口市保健所、川口市医師会、他地域医療機関（埼玉協同病院、川口市立医療センター、済生会川口総合病院、戸田中央総合病院等）と合同カンファレンス、個別相談・助言を受け連携しております。